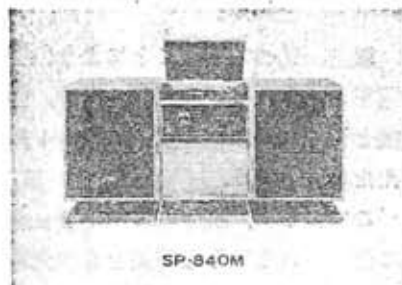


# 新製品紹介

## 1. IC化マルチ・アンプ・ステレオ 〈東芝 SP-840M, 740M〉



SP-840M

カートリッジからメイン・アンプまで全IC化した4チャンネル・マルチ・アンプ・ステレオが、9月26日に東芝から発売される。

総合100WのITL-OTL方式メイン・アンプの秘訣は、パワーICの放熱器にある。放熱面積の大きいアルミ・ダイカスト・クーリング・フィンが、余裕ある回路設計で大出力を実現した。

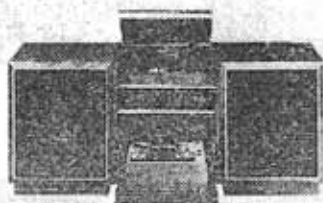
FMフロント・エンドは低雑音FETと3連バリコンによる本格的設計、さらに中間周波増幅増幅回路は、FM・AMともにICとセラミック・フィルターを採用して雑音・混信を少なくしている。しかもFMマルチプレックス回路もIC化により、分離度が一段と向上している。

また中音尊重設計のMFR (Multi Frequency Responser) により音の創造範囲が広い。

スピーカー部は中・低音用にコンケープ・スピーカー、高音用スピーカーの前面にアコースティック・レンズを取付けた、3ウエイ・6スピーカー・システム。¥137,000(840M)  
¥119,000(740M)

## 2. マルチ・チャンネル・ステレオ 〈シャープ GS-5720〉

低音用、中音用それぞれ2台の専

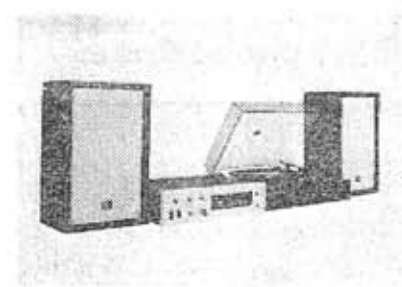


用アンプを備えた、4チャンネル・アンプ・システム。シリコン・トランジスタ50石を全回路に採用したOTL-ITL方式でアンプの耐熱性、信頼性、安定性の向上をはかっている。FMフロント・エンドにFETを採用しているため、高感度で混信妨害のないFMステレオ放送が楽しめる。

スピーカー・システムは30cmウーファー、16cm スコーカー、8cmと6cmのトゥィーターの4ウエイ8スピーカー・バスレフ型。

プレーヤー・システムは31cm重鉛ダイカスト・ターン・テーブルをベルト・ドライブで駆動、アームはスタティック・バランス型のパイプアームである。オート・リターン機構、オート・カット機構つき、発売は8月下旬。 ¥138,000

## 3. 4点システム・ステレオ 〈ONKYO Dynamic Four 700〉



4点のレイアウトによってユーザーの個性を生かせる機能設計が主眼になっている。レコード、FMステレオ、AMがそのまま聴けるほか、

テープ・デッキ、マイクロホン、エレキ・ギター、有線放送など、豊富な端子であらゆるプログラムが楽しめる。

アンプ部はオール・シリコン・トランジスタの28W低歪率SEPP OTL ITL回路、プレーヤー部は2スピード、オート・リターン、オート・カット機構。スピーカー・システムは12cm スコーカー・トゥィーターと16m ウーファーによる2ウエイ・バスレフ形となっている。 ¥53,800

## 4. ステレオ・ブリ・メイン・アンプ 〈ソニー TA-1130型〉



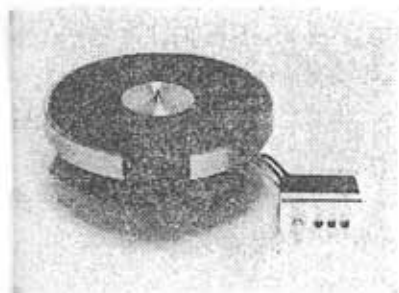
従来のOTLアンプから各段の結合コンデンサーを取り除き、すべて直接結合とし、スピーカーも直接駆動するダイレクト・カップリング方式を採用している。このため、パワー、ひずみ特性、ダンピング・ファクターなどが超低域においても劣化しない。

定格出力は65W×2 (8Ω両チャンネル・ドライブ)、高調波歪、混変調歪ともに定格出力時で0.1%となっている。

ブリ・アンプ部は8コのFETを使用して、諸特性にすぐれた結果を得ている。ブリ・アンプとメイン・アンプはそれぞれ単独で使えるように、ブリ・メインの接続・分離スイッチがついている。発売日は9月24日。 ¥88,000

# 新製品紹介

## 5. 直結サーボマチック・ターンテーブル 《ソニー TTS-4000型》



低速 AC サーボ・モーターを採用し、サーボ・アンプには専用に開発したICを使用している。直径 32cm, 1.75kg の大型ターン・テーブル外周についたストロボで正確な回転数を知ることができる。性能はワウ・フラッター 0.03% (Wrms), SN 比 60dB 以上という数字に示されるように、性能は抜群である。¥65,000

この TTS-4000 を木製キャビネットに入れ、ダストカバーをつけたプレーヤー・システム《PSI-4000 型》も 9 月 21 日に同時発売される。

¥85,000

## 6. オートマチック・レコード・プレーヤー 《トリオ KP-302型》

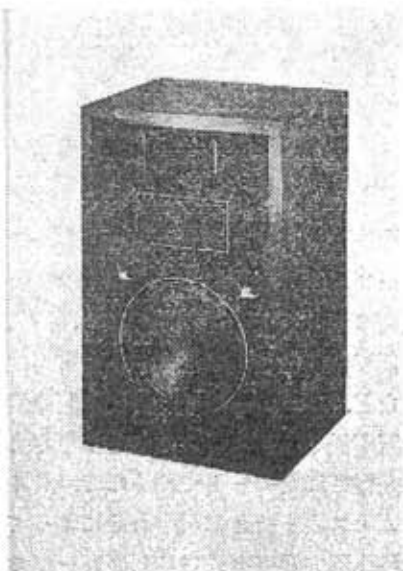


オートプレイ、オートリビート、オートカットの基本動作が軽いレバー操作ですべて電氣的におこなえるとともに、マニュアル・プレイも可能。駆動機構は 2 モーター・ベルト・ドライブ方式で、4 極アウターローター型ヒステリシス・シンクロナス・モーターを採用、30cm アルミ・ダイキャスト製ターン・テーブルをドライブしている。アームはブラ

グイン・ヘッド方式の高級無共振 S 字パイプ・アームに、トレース精度向上のためのラテラル・バランスをつけている。

¥29,900

## 7. コンケープ・スピーカー・システム 《東芝 SS-100》



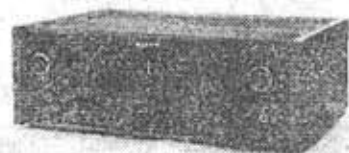
東芝総合研究所が開発したコンケープ・スピーカーは、従来防塵用として用いられていたキャップを、凹面形振動板として音響放射に利用したというのが基本的原理である。高域共振を著しく抑制できるうえ、その放射波面がきわめてすなおになるため、隣接する他のスピーカーとの干渉が少なく、マルチ・ウェイ方式に最適といえる。

SS-100 は 30cm コンケープ・ウーファーと 22×11cm ホーン・スクーカーのほかに 6cm ホーン・トゥイーターにアコースティック・レンズをつけている。これは光学的にいて凹レンズの役割を果たし、高音がスピーカー・システムの周囲に球面状に放射されるので臨場感を高める。

¥109,000 (1 台)

## 8. FM-AM ステレオ・レシーバー 《ソニー STR-6000型》

チューナー部には周波数直線型 5 連バリコンと、高周波増幅および混



合段に高性能低雑音 FET を採用しているため、高感度で強力な妨害排除能力を備えている。実効選択度 80 dB, キャプチャー・レシオ 1.5dB という特性は FM 多局化時代にふさわしいものといえよう。

ブリ・メイン・アンプ部は低歪率で強力なパワー部をもち、ダイナミック・パワーは 130W/8Ω である。高調波歪率は 10W 出力時で 0.1%、混変調歪率は定格出力時 0.2% となっている。発売日は 9 月 21 日。

¥69,800

## 9. 4トラック2チャンネル・テープ・デッキ

《バイオニア T-8800》



安定したアンプの特性に加えて、ヒステリシス・シンクロナス・モーター、精密加工のキャプスタン、大型フライホイールなどの優れたメカニズムが品位の高い Hi-Fi 音を再生

# 新製品紹介

する。

録音・再生のオート・リバース、ピンチローラー起き上がり機構のイージュー・ローディング方式など、操作面での使い易さにも重点が置かれている。

録音してある一方のチャンネルの音を再生しながら他のチャンネルに録音する、サウンド・オン・サウンドの楽しみも、多用途な最高機としての本機の特長のひとつ。¥139,800  
《パイオニア T-6600》

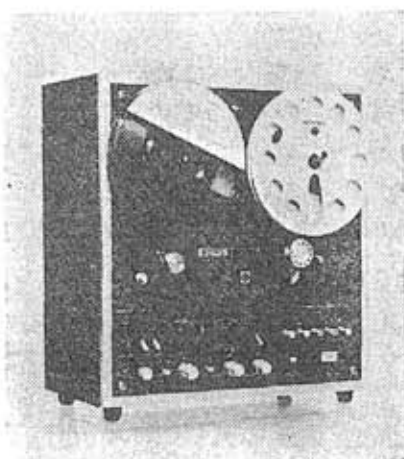


好評を博した T-6000 の音質にさらに一段とみがきかけられている。オート・リバース、オート・リピートは T-8800 と同様。 ¥69,800

なお、T-6100 の方はオート・リバース、オート・リピートともに再生のみであるのが主な相異点で、¥55,800 となっている。

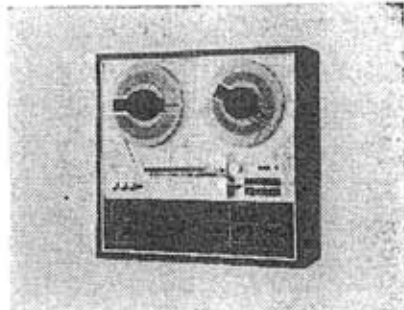
10. 3ヘッド3モーター・ステレオ・テープ・デッキ  
《ソニー TC-9400型》

DCB (ダイカスト・センター・ベース) に機構心臓部を集結させたことによる安定したテープ速度、新開発の6極アウターローター型モーターの採用による強力なトルク、均一なテンションなどが主な特長であるが、



ECHO, SOS 録音, ソニー SLH テープおよび他社の Low Noise Tape 用のテープ・セレクターなど、機能面での幅がひろい。特に録音・再生など、どのモードにおいても記憶装置が働き、電源を入れるとすぐさま記憶されたモードで働くので、タイム・スイッチとの組み合わせによって FM 留守録音や目覚ましプレーができる。幅369×高さ395×奥行234mm, 15kg の小型軽量設計である。発売は9月21日。 ¥76,800

11. 3ヘッド・3モーター・テープ・デッキ 《日立 TRQ-7000D》

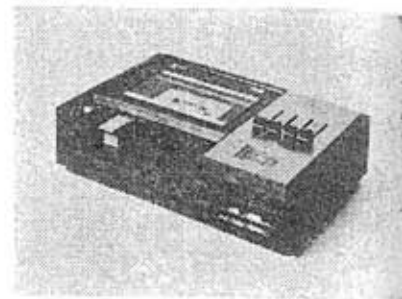


3ヘッド・3モーター・4トラック2チャンネル方式の、オーディオマニア向け新製品。

録音および再生ヘッドには高感度、広帯域磁気ヘッドを、消去ヘッドにはフェライト・ダブル・ギャップ磁気ヘッドを使用しているので広帯域周波数特性が優れ、高い SN が得られる。Dolby Noise Reduction 回路の採用によって、従来のノイズ・フ

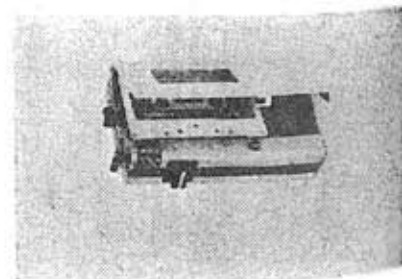
ィルターにありがちな周波数特性や過渡特性の劣化を防いでいるのが注目される。そのほかバイアス可変回路、テスト・シグナル (1 kHz) ・サーチ・メカニズムなど機構的に種々の工夫がこらされている。発売は11月の予定。

12. ステレオ/モノ・カセット・デッキ 《パイオニア T-3300》



アンプ部にシリコン・トランジスタを使用して、周波数特性、S/N、歪率などに優れた特性を獲得。ヒステリシス・シンクロナス・モーター、大型フライホイールとあいまって、音楽性豊かな Hi-Fi 音が実現されている。テープが巻き終ると自動的にメカニズムが解除されるオートストップ機構、テープが巻き終ると自動的にカセットがとび出すオート・ポップアップ機構、この両者が切換えスイッチで選択できる仕組みになっている。そのほかポーズ装置、大型双示式レベル・メーター、誤消去防止装置など、機能的にゆき届いた配慮がなされている。 ¥39,800

13. 超小型カセット・テレコ  
《日立 TRQ-20》

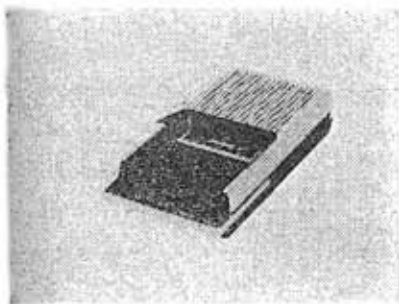


IC を採用して高精度、高信頼度を

# 新製品紹介

実現し、しかも超小型・高性能トランジスター・モーターの採用により、ワウ・フラッター、雑音を極力少なくしている。マイクロホンは内蔵されており、録音レベルは自動調整になっている。外形寸法は 91(幅)×140(高さ)×35(奥行)mm。重量は 630g。発売は10月になる見込み。

## 14. IC採用カセット・テレコ 〈日立 TRQ-290〉

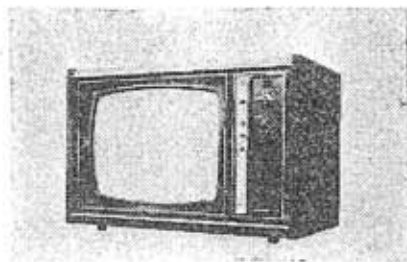


日立のカセット・テレコ“おとさち君シリーズ”は、この TRQ-290を加えて、全部で10機種になったが、IC採用のカセット・テレコは初めて。

自動車バッテリーも使える3ウェイ電源方式である。高精度磁気ヘッドと7.7cmスピーカーにより音量豊かなHi-Fi音が楽しめる。外形寸法は幅148×高さ62×奥行262mm、重量は1.8kg。 ¥19,800

## 15. 19型トランジスタ式カラーTV 〈ナショナル TH-929S〉

13型・16型に続く、ナショナル「ハイビコン」シリーズの第3弾。15万円を割った価格は、19型トランジスター・カラー・テレビとしては初

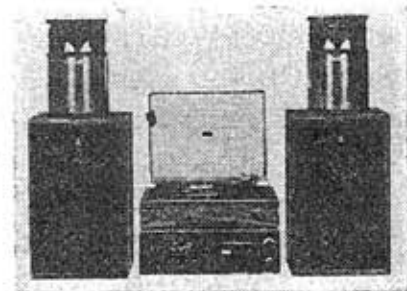


めてである。新しい緑色蛍光体の採用と、ハイ・ポテンシャル方式の精密電子銃を用いたカラー・ブラウン管によって明るく鮮明な画像を得ている。

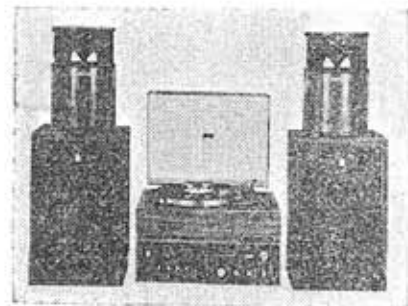
色差信号ドライブ方式は、白黒映像信号とカラー映像信号をそれぞれ専用の増幅回路を通してブラウン管に加える方式で、相互の干渉がなく、高耐圧・大電力トランジスタ、特殊半導体の大幅な採用が映像を安定したものにしている。 ¥149,000

## 16. 4チャンネル・モジュラー・ステレオ2機種

〈日本コロムビア CCS-9600, CCS-6600〉



CCS-9600



CCS-6600

★4チャンネル・ソース切換端子が、アンプ部背面にセットされている。4チャンネル・ソースに切換えて使用する場合、メイン・アンプ以前の、チューナー、プリ・アンプ、トリミング・コントロールはメイン・アンプと切離されるので、電源スイッチ、ヘッドホン端子以外のツマミ、レバー等はスピーカーの音とは無関係になる。

★360°無指向性スピーカーが立体音場を再生し、臨場感を高める。音の拡がりや決定する中高音を自由にコントロールして、シングル・ステレオの場合はムードな効果を、4チャンネルの場合は補助の残響効果をもたらす。

★プレーヤー部は CCS-9600 が4極モーターのベルト・ドライブで30cmアルミ・ダイキャスト・ターン・テーブル。ピック・アップはシェル交換可能。CCS-6600 が2極モーターのリム・ドライブで30cmアルミ精密加工ターン・テーブル。

### ■今月号でとりあげた新製品の問い合わせ先

東京芝浦電気(株)総務部総務課<sup>1,7</sup>

東京都千代田区内幸町1-1-6

TEL (03) 501-5411

シャープ(株)宣伝本部広報課<sup>2</sup>

大阪市阿部野区長池町22-22

TEL (06) 621-1221

東京事務所広報係

TEL (03) 253-5111

大阪音響(株)<sup>3</sup>

大阪市旭区大宮西之町5-32

TEL (06) 951-5631

東京 TEL (03) 293-0191

ソニー(株)<sup>4,5,8,10</sup>

東京都品川区北品川6-7-35

TEL (03) 442-5111

トリオ(株)広報部<sup>6</sup>

東京都渋谷区渋谷1-65

TEL (03) 400-7111

パイオニア(株)宣伝部<sup>9,12</sup>

東京都大田区大森西4-15-5

TEL (03) 763-2111

(株)日立製作所 社長室弘報班<sup>11,13,14</sup>

東京都千代田区丸の内1-5(新丸ビル)

TEL (03) 212-1111

松下電器産業(株)東京報道課<sup>15</sup>

東京都港区芝4-8-2(新ナショナルビル)

TEL (03) 453-3111

日本コロムビア(株)電機宣伝課<sup>16</sup>

東京都港区赤坂4-14-14

TEL (03) 584-8111